



商工会やまなし

未来に敏感、人が中心

SHOKOKAI-YAMANASHI

■発行所／山梨県商工会連合会 ■発行人／会長 竹井清八 ■住所／〒400-0035 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館3F
 ■TEL／(055)235-2115 ■URL／<http://www.shokokai-yamanashi.or.jp/>

第251号

平成23年1月

年6回1・3・5・7・9・11月の末日発行

定価120円

会員の購読料は会費に含んでおります。



—今年は商工会法施行50周年—

商工会は行きます 聞きます 提案します
～会員満足向上運動～

「湯橋」付近で撮影。大勢のお客様を乗せてきた貸切バスがホッと一息ついたところだろうか。

CONTENTS

- 2～3…商工会先進的支援事例発表会を開催
- 4………新年互礼会・新春講演会 女性部交流大会
- 5………年度末に向けた中小企業金融景況調査
- 6………がんばる会員事業所 (有)FAI(甲斐市商工会)
- 7………SHIFT導入事例 カメラタイム(有)(都留市商工会)
- 8………小規模企業共済改正 女性部が環境財団へ寄付

商工会50年

地域とともに半世紀～その4～

新しい魅力づくりに取り組む増富温泉

この50年で県内観光産業も大きく発展した。平成21年度調査における本県の観光消費額は約3,700億円、来県した観光客は6,800万人に至っている。写真は商工会が発足した頃の増富温泉（北杜市）の様子。ここも古くから登山客や湯治客に親しまれてきた温泉地のひとつだ。

北杜市商工会では、「地域資源～全国展開支援事業(おもてなし事業)」を活用してこの増富温泉を新しい地域の観光資源として新たに蘇らせる取り組みを始めている。

「増富ラジウム温泉博覧会」(2010年9/17～10/17に実施)と銘打たれたこの取り組みでは、世界有数のラジウム含有量を誇る温泉と豊かな自然、地域の歴史文化を融合し、温泉療法体験やセラピー体験、トレッキングツアーなど、数々の体験プランを実施。お客様は「癒し」と「健康」という増富温泉の新しい魅力を満喫した。

観光地としての温泉場から健全な心と体を創るケア&リゾート～次の時代への挑戦が始まっている。

商工会先進的支援事例発表会を開催

去る一月二十六日、昭和町アピオにおいて、商工会先進的支援事例発表会が開催された。

商工会法が施行されて本年で五十周年。この間半世紀にわたり、商工会は経営改善支援事業、地域総合振興事業を実施してきたが、近年の経済状況の中で、小規模事業者を取り巻く経営環境は大変厳しい状況下にあり、各々が抱える課題も多様化し、専門的かつ高度な支援が求められるようになっている。

このような中、この発表会は、



発表事例1

経営革新に至るまでの プロセスとその成果



北杜市商工会
経営指導員
向山 繁樹

商工会の実施している相談指導業務、地域産業振興活動等から、先進的な支援・活動事例の発表の場を設け、商工会活動や経営支援の範とするとともに、商工会員の支援技術力の向上により、商工会力の底上げを図り、会員事業所の負託にこたえる組織づくりを推進することを目的に、今回初めて実施された。

当日は、商工会職員はもとより、県、市町村担当職員の参加も含め、

約九十名の参加があり、五件の支援事例の発表を熱心に聴き入っていた。
最後に、アドバイザーとして招へいした伊藤中小企業診断士より、いずれも素晴らしい事例の発表であったこと、また指導していく上で七つの力「聴力」「眼力」「表現力」「構想力」「調整力」「実行力」「継続力」が必要であるとのアドバイスがあり、参加者一同、今後の経営支援に向けて心を新たにし、大変有意義な発表会となった。
なお、次の事例紹介の詳細についてお知りになりたい方は、最寄りの商工会へお問い合わせください。

したオリジナル建材の開発で経営革新の承認を得た。

同社では、早速販路開拓を図るために、商工会と連合会の指導員の側面からの支援を受け、技術開発、営業活動の強化を進めながら、見事に自社製品のシェアを上げることにより売上総利益率のアップに結びついた。

発表した向山経営指導員は、平成二十年、下請け主体の経営体質から脱却するため、押出成形加工技術を活かし、新製品の開発に取り組み、リサイクル材を活用する。

ビジネスマーニ e プラス⁺

ソフトウェア開発/販売/ネットワーク/教育



肉体派SEが
あなたの会社をお助けします。



株式会社 **Ysk e-com**

www.ysk.co.jp

本社 〒400-8560 山梨県甲府市湯田1-13-2 tel.055-236-1111 fax.055-236-1166
Do-KASUGA 〒400-0032 山梨県甲府市中央1-20-18 tel.055-236-1111 fax.055-208-1122
支店 〒105-0021 東京都港区東新橋2-9-2 7階 tel.03-5401-1022 fax.03-5401-1060

発表事例2

5S活動支援事例



南都留中部商工会
経営指導員
高橋 維雄

を実践した。

以来継続してきた5S活動は今では全社員に浸透し、現在はデータの見える化、経営数値の見える化へ進展している。

この事例に、甲斐市で取り組んでいる事業所から視察の依頼があり、5Sを通じた企業間交流も始まりました。

県連の主催した5Sセミナーに参加をしたことが、(株)三浦化成工業の、現在も続いている5S活動の取り組みへのきっかけとなった。県連のモデル事業所として、何度もわたる専門家の実践的指導を受け、全社一丸となって5S活動

本事業を通じ、高橋経営指導員は何回となく企業の活動に参加し、社員とともに汗をかき、企業との信頼関係を築き上げる中で、5S活動を通じた経営改善の支援を続けてきた。

発表事例4

桃源郷フルーツプロジェクト



南アルプス商工会
経営指導員
保坂 一也

その後は市の補助金、自己財源により事業を継続し、平成二十二年度に再び同事業に採択され、通年にわたり新鮮な果実の風味を提供できる、カット果実の冷凍保存スマモの完熟ピューレの冷凍化に取り組み、現在にいたっている。

農業者、JA、JR等様々なネットワークを構築しながら、フルーツの産地「南アルプス市」のPRに大きく貢献している。

発表者の保坂経営指導員は、当初より本事業に携わってきた。

発表事例3

店づくり・逸品づくり事例



笛吹市商工会
経営指導員
清水 一秀

である。

江戸屋商店は、物産展への出展や、商工会の様々なセミナーに積極的に参加し、その上で、商品開発、デザイン、ディスプレイ等々、商工会、県連、やまなし産業支援機構、山梨デザインセンター等の各支援機関をフルに活用し、よりお客様に感動を与える商品づくりに励んでいる。

食料品小売・割烹を兼業する「江戸屋商店」が、割烹メニューの「ごまどうふ」を商品化。逸品づくりで経営革新に取り組んだ。これは、様々な支援機関が連携し、会員事業所と一緒にして、新たな顧客と市場を開拓した事例

発表者の清水経営指導員は、江戸屋商店の目となり耳となつて、情報提供、支援機関とのコーディネートをしながら現在も支援を続けている。

発表事例5

リバーツーリズム企業化事業



身延町商工会
経営指導員
内藤 力

観光センターの設立や、ビジョン実現のための推進体制・組織・拠点の整備・地域観光ネットワークの形成など、観光振興への取り組みを続けている。

本事業は、国土交通省の建設業者への支援施策を活用し、建設業者の技術・人材を活用し、ラフティング(ゴムボートによる川下り)

を企業化した。異業種との融合による観光振興としても注目を集めている。

商工会のチームワークと、内藤経営指導員の熱意により実現した。



うさぎのようすに飛躍する年に！



新春講演会要旨

むら・ひと・時代づくり
—農商工連携と六次産業化—
NPO法人 代表理事 曾根原久司氏

東京で経営コンサルトをしていたが、バブル崩壊等を機に、自給率の低い日本は、このままでは生き残れないと同じ、「農業」の世界に身を投じた。その実践の地として選んだのが山梨。都会にも近く、自然豊かな山梨の将来性に魅力を感じている。

耕作放棄地の再生から事業をスタート。「農」では食えないと言われたが、事業化のポイントは「ニーズ」を見極めること。田舎暮らしに、若い世代が興味を抱いていることに注目し、田舎と都会を繋ぐことで事業化に成功した。

現在は大企業や都会の自治体なども、「農」に注目し、取り組みを始めている。この社会マインドが山梨に大きな可能性をもたらしている。「農」を新しいビジネスとしていくには、農・林業者だけではダメ、商工業者が加わることで「六次産業」として様々なビジネスが生まれる。目の前に広がる農村資源をどのように活かすのか。これから経営者には「新しい視点で物事を見る」ことが求められる。

六次産業とは？

地域の第一次産業（生産）と第二次・第三次産業（加工・販売等）を融合し、新ビジネスの創出などを行う取組。一次・二次・三次をたして「六次」となる。昨年十二月には、この取組の支援が法制化された。

安心を明日につなぐ

3つの特色で皆様の企業をパワフルにバックアップします。

○ 安い掛け金

○ 簡単な手続き

○ 迅速な支払い

中小企業者のための
火災共済

普通火災共済

総合火災共済

休業補償共済

生命傷害共済

山梨県火災共済協同組合

甲府市丸の内一丁目10番5号

山梨県社会福祉会館2階

☎ (055) 235-7564

力強く、着実に前进を

新年互礼会・新春講演会開催

新年の慶びを分かち合うとともに、一年の商工会と会員事業所の飛躍を願う「新年互礼会」「新春講演会」が一月十七日に開催された。

県下商工会の役員をはじめ関係団体の代表者等約三百名が出席。県産ワインで乾杯した後、新春の晴れやかな雰囲気に包まれた会場で相互に親交を深めた。竹井県連会長はあいさつで「本

年の干支のうさぎのように耳を大きくして皆様方の声をお聞きしながら、急激に変化する社会経済情勢に的確に対応し、力強く一步一歩、着実に進んでいきたい」と新年の決意を述べた。

また、新春講演会では、NPO法人「えがおつなげて」の代表曾根原代表理事が、農村資源活用と山梨の可能性を語った。

十二月八日（水）勝沼・ぶどうの丘において女性部交流研修会が開催された。県下女性部員百四十名が参加。

第一部の女性部主張発表大会では、各ブロック代表四名が女性部活動を通じて得た体験や成果などを発表した。審査の結果、最優秀賞には、「女性部活動と地域振興・まちづくり」を評議した。

役澤登信子先生による基調講演も行われた。

岡本明実さん(身延町)、最優秀賞に輝く！

華の如く・惠風会の取組へ」について発表した身延町商工会女性部の岡本明実さんが受賞した。



中小企業景況調査

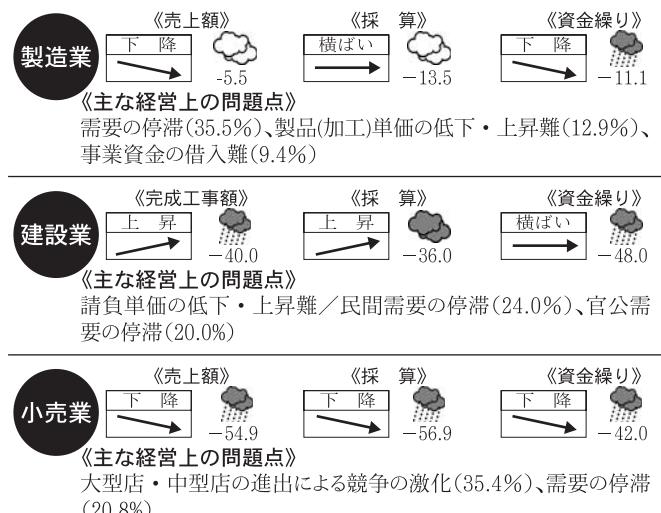
この調査は、県内11商工会地域の製造業、建設業、小売業、サービス業の4業種165社を対象に、売上額や資金繰りなど前年同期や前期と比較しての状況や直面している経営上の問題点など会員事業所の景気動向を把握するために四半期ごとに調査し、集計値をD-I(※)で表している。

= 平成22年10月～12月期 =

製造業の売上額D-Iは、前期プラス22.3からプラス2.8といくらかのプラスを維持した。

建設業の完成工事額D-Iは、前期からマイナス48.0からマイナス52.0と悪化した。

小売業の売上額D-Iは、前期マイナス45.1とほとんど変りなくマイナス46.0である。また、サービス業は、前期売上額D-Iがマイナス44.2からマイナス55.8と悪化した。



表示	好調	やや好調	普通	やや不振	不振
DI	20.0～	0.0～19.9	-0.1～-19.9	-20.0～-39.9	-40.0～

(※)DIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について「増加」「好転」したなどとする企業割合から「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値のこと。

応援します、あなたの企業

「景気対応緊急保証」

(取り扱いは平成23年3月末まで)

売上の減少や収益が圧迫されている中小企業の皆様の資金繰りを、
本制度でサポートします。(セーフティネット保証)
対象業種も拡大されました。(農林水産業、金融・保険業、公務、
学校法人、政治・経済、文化団体、宗教等は除く)
他の保証制度や保証協会について詳しくはホームページをご覧ください。

年度末に向けた 中小企業金融対策に注目

【信用保証付き保証の借換について】

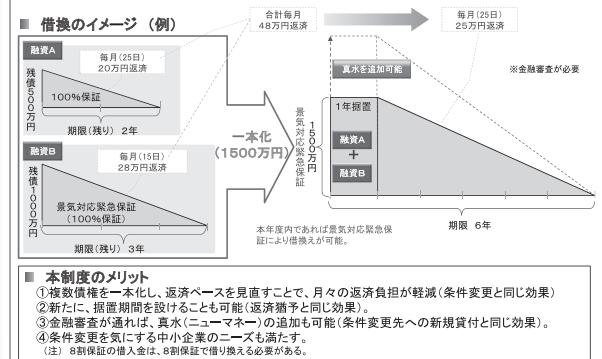
年度末に向けて実施されている中小企業金融対策で、特に「借換え・条件変更の推進」に注目したい。

「借換保証の拡充・推進」として、既存借入債務の一本化、返済条件の緩和が盛り込まれたのが大きな特徴となっている。

別図の例は、残債務を有する「融資A」(100%保証)と「融資B」(景気対応緊急保証・100%保証)を一本化することにより、元本返済が月々48万円から25万円に軽減が図れるケースである。
(ただし返済期間は延長する)

借換保証制度

○ 既往の保証付き融資について、新たな保証付き融資に借り換える制度。



ご注意ください

景気対応緊急保証とともに、この借り換が可能な申し込み期限は本年度内(3月31日まで)となります。

【日本政策金融公庫 国民生活事業部より】

セーフティネット貸付の特別利率対応が3月31日で取り扱い終了となります。

例えば

- ①設備資金の当初2年間の利率の0.5%引き下げ
②運転資金の利率を最大0.5%引き下げ

(雇用維持・拡大を図る方、業況が悪化している方の新規融資等)などです。

※審査がありますので要望に添えない場合もあります

※ご予定のある方は、早めに最寄りの商工会までご相談ください。

山梨県信用保証協会

本店 甲府市飯田2-2-1 (山梨県中小企業会館)
TEL 055-235-9700 FAX 055-232-0160
URL: <http://www.yiso.or.jp/~shinpo/>
E-mail:shinpo-yamanashi@rondo.ocn.ne.jp

富士吉田店 富士吉田市下吉田1832
TEL 0555-22-0992 FAX 0555-22-0921



開発した装置。
補助金申請は難
関を突破して採
択された。

(有)F A I (甲斐市商工会)

(有)F A I (代表者 長田知芳氏) は、省力自動機械の設計・製作を専門とする企業。依頼主の要求の忠実化と積極的な提案によるフォロー、コストパフォーマンスの高い装置の提供をテーマに事業に取り組んでいます。高い付加価値を求められるこの仕事は、何より「発想を実現する技術」が勝負。この度、同社は培った技術ノウハウを活かし、キャリアアップに納められた電子部品の「高速外観検査装置」を開発しました。

極めて小さな電子部品の検査は、顕微鏡での目視検査に頼ることが多く、人の作業から不良品の見落とし対策が伴う。また、汎用的な検査装置においては、多様な製品規格や検

査内容の異なりによる段取り替えを要する事から、検査にかかるコストは企業にとって大きな負担となっています。このため、多様な製品規格に幅広く対応できる廉価な検査装置が求められていた。

同社の開発した装置は、これらの問題を克服。幅の異なる複数レンズでの構成とカメラ二台による画像処理に加え、高精度な位置決めの実現から、多様な製品規格や検査内容への対応も容易となつた。またカバーテープを剥して検査し、新たにカバーテープを貼る機能も大きな特徴で処理能力は秒十個を上回る。

商工会の仲間で作る「甲斐工友クラブ」の一員である同社。今回の開発は商工会からの情報提供により、ものづくり補助金を活用した。長田社長は、甲府工業高校を卒業し、県内大手メーカーに就職。機械加工職人として経験を積んだ。その後、ものづくりの原点となる装置メーカー(前職)への転職を経て、平成十三年、二十一世紀を機に独立した。厳しい環境からの一步であった時は「失われた十年」といわれた時代。厳しい環境からの一歩であったが、様々な方の協力を頂く中、結果から得る信用が営業を兼ね、次第に取引先の増加に結びついた。「お客様

「想い」をカタチに ものづくり補助金を活用し新製品開発にチャレンジ

がんばる会員事業所



初めてまして長田です。ぜひ、「ものづくりどっこむ」から私を探し当てて下さい。宜しくお願いします。

単に会社を継ぐ人材ということではなく、ものづくりを楽しめる人が大勢育つよう、次の世代にも、ものづくりの面白さを直伝できる人材だ。将来の夢は、総合デパートのような独自の工業団地を造る事。共有によるリスクの分散化、作業性重視の土壤造り、人材の共育による、何でもこなせる人材の育成など、思い描く「理想のものづくり」実現のためだ。

話の終わりに、昔から嫁がせる気持ちで装置を手掛ける習慣からか、出荷前には必ず、「頑張ってこいよ」と声を掛け送り出す様にしていると笑つた長田社長がとても印象的であった。

有限会社 FAI

山梨県甲斐市大下条760-6
TEL.055-277-1467 FAX.055-277-1476

团体割引率 15%
安い掛金で大きな安心

自動車共済

24時間事故受付で、緊急連絡にそなえ万全の事故処理体制をとっています。万一の事故のときは、顧問弁護士や専門職員が示談交渉にあたり、解決します。

関東自動車共済協同組合 山梨県支部

〒400-0035 甲府市飯田4-4-2 自動車共済ビル 電話055(237)8331(代)



検索キーワードに お客様の聞こえない声を聞く カメラタイム

(都留市商工会)

商品情報を豊富に掲載してあるshiftページ。
商品情報の登録は通販をしていない事業所でも利用できる。

商工会では商工会員なら誰でも無料で利用できるホームページ作成支援システム『SHIFT』の提供をおこなっている。

今回はSHIFTを利用している都留市の写真店「カメラタイム」渡辺宗正さんにお話をうかがった。

渡辺さんは「SHIFTは広告やチラシ、商工会の一店逸品カタログに掲載するようなもの。自店ホームページへの窓口を増やすことができるのではないか。」と思い利用を開始。現在は、SHIFTからのリンクで、自店ホームページへのヒット率を着実に増やしている。

特に、新着情報の鮮度を落とさないように気をつけている。SHIFTが、検索ページで上位にランクされやすいことに加え、新着情報は、商工会ホームページなどでも他の会員の情報とともに掲載されるため、より多くの人の目に触くという利点を活かすためだ。

SHIFTのもう一つの魅力は、ホームページの訪問者がどんなキーワード検索をしてきたか等がわかる「アクセス解析」が容易に設定できることだ。渡辺さんもこの機能を利用して、アクセス数や検索キーワード等を日々確認している。

特に、新着情報の鮮度を落とさないように気をつけている。SHIFTが、検索ページで上位にランクされやすいことに加え、新着情報は、商工会ホームページなどでも他の会員の情報とともに掲載されるため、より多くの人の目に触くという利点を活かすためだ。

「検索キーワードは『お客様の聞こえない声』。お客様がどのようにものに興味を持ち、何を望んでいるのかを知り、どのようにPRすればよいのかを考えるのにとても役立つ。」からだそうだ。

このアクセス解析でGoogleやYahooなどの検索結果ページに店名が表示されるように、SHIFTの「詳細情報・編集」の「メイン記事タイトル」欄に店名を入力することが有効だと実感したそうだ。

「他の皆さんにもぜひこの便利な『アクセス解析』をおススメします」と話す渡辺さん。

今後、SHIFT利用者同士が情報交換し合い、利用方法を考えていこうことで、単なるPRの道具ではなく、会員同士の交流を生み、その中で新たなビジネスが生まれるかもしれない、『SHIFT』の可能性におおいに期待している。



「まだまだ活用法はたくさんあります」と渡辺さんは言う

カメラタイム(有)

〒402-0053 山梨県都留市上谷5-11-18 上谷郵便局となり
TEL: 0554-43-1337 FAX: 0554-45-4403

女性部 県女連が環境財団へ寄付

県女連（原田重子会長）は、12月21日（火）県庁森林環境部長室において、財団法人「やまなし環境財団」の理事長である中橋森林環境部長へ、10月に小瀬スポーツ公園で開催した「商工会まつり」女性部コーナーバザーの売上金の一部を寄付。女性部では、日頃からマイバック運動の推進や環境美化運動等環境問題に積極的に取り組んでいることから、環境保全活動の支援を目的に、同財団への寄付を継続的に行っており、今回で13度目となる。



節税に!
将来への
備えに!

小規模企業共済制度が 改正されました！

小規模企業共済制度は国がつくった「小規模企業の経営者のための退職金制度」。掛金は全額所得控除。受け取る共済金も退職所得扱い又は公的年金等の雑所得扱いとなり、現役引退後の安心した生活設計が図れます！平成23年1月から制度が改正されメリットも拡大しました。

① 事業主の「共同経営者」も加入の対象となりました。 (平成23年1月から受付開始)

共済加入対象者が、個人事業主の配偶者や後継者など「共同経営者」まで拡大されました。

(1事業主につき2名まで。個人事業主の親族でなくても「共同経営者」であれば加入できます)

共同経営者の加入イメージ



- 共同経営者とは、以下の①～④の条件を満たしている方々です。
- ①事業の経営において重要な意思決定をしていること、または事業に必要な資金を負担していること
- ②事業の執行に対する報酬を受けていること
- ③従事する事業の個人事業主が小規模企業者であること
- ④加入申込み時点において、共同経営者であること

② 掛金納付月数の通算の対象拡大

配偶者や子への事業譲渡後も引き続き小規模企業者であれば、契約者ご自身の共済契約を継続することが可能となりました。

③ 契約者貸付けの見直し (平成23年春以降実施)

事業承継時に必要な資金を掛金の範囲内で貸し付ける「事業承継貸付け（仮称）」が創設されます。

④ 加入要件の見直し

小規模企業共済と中小企業退職金共済（中退共）の重複加入が不可となりました。※対象となるのは、平成23年1月1日以降に加入される方となります。

⑤ 共済金（解約手当金）の請求事由の見直し

個人事業の法人なりをすべて「準共済金又は解約手当金」とすることになりました。※なお、当該事項については共済契約者に対して不利益な内容となるため、「経過措置」が適用されます。

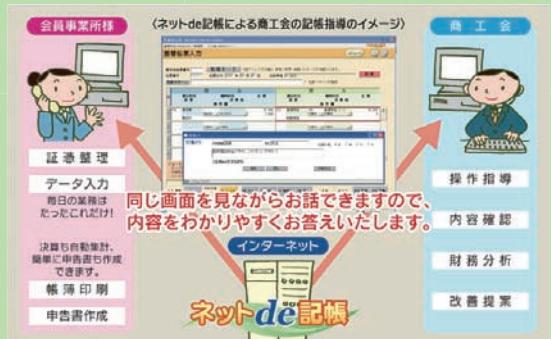
詳しくはお近くの商工会か中小企業基盤整備機構へ
お問い合わせください

- ホームページ 「共済制度 トップページ」 <http://www.smrj.go.jp/kyosai/>
- 共済相談室（センター） 050-5541-7171
(受付時間) 平日：午前9時～午後7時／土曜日：午前10時～午後3時

インターネットができる 中小企業経理システム

ネットde記帳

ネットde記帳は、インターネットに接続できる環境があれば、いつでもどこでも帳簿入力や集計ができる経理システムで、システムやデータ等は一元管理しているので、バージョンアップやデータのバックアップなどの作業は不要です。日々の入力など操作でわからないことは同じ画面を見ながら商工会の職員がアドバイスするなど安心して利用できます。



《お問い合わせはご加入の商工会に…》

山梨県商工会連合会共済制度・福祉制度の一環としてお届けする
保険の世界ブランド。アクサがあなたをサポート。

新大型保障プラン

アクサのフィナンシャル・プロテクション

定期保険



普通傷害保険



世界トップクラスの
保険・金融グループ、
アクサで実現。

<http://www.axa.co.jp>

アクサ生命保険株式会社 甲府支社 ☎400-0858 甲府市相生2-2-17 甲府商工会議所会館 TEL055-226-5075